

[症例の概要]

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用															
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置															
1	女 ・ 0日	母体 切迫早産 (母体 前期破水)	(経胎盤) 100 μ g/min 17日間 ↓ 75 μ g/min 14日間 ↓ 50 μ g/min 12日間 ↓ 30 μ g/min 5日間	<p>新生児高カリウム血症</p> <p>【母体経過】 投与開始日 切迫早産に対し、本剤を100μg/minで投与開始。 (妊娠23週6日) 投与18日目 本剤を75μg/minに減量。 (妊娠26週2日) 投与32日目 本剤を50μg/minに減量。 (妊娠28週2日) 投与44日目 本剤を30μg/minに減量。 (妊娠30週0日) 投与48日目 本剤を投与終了。 (妊娠30週4日) 投与終了直後に経膈分娩にて児を娩出。 (投与終了日)</p> <p>【新生児経過】 出生時所見 女児、体重1574g、身長43cm Apgar score 1分後9点、5分後 10点挿管、人工呼吸管理開始。 輸液(ブドウ糖)投与開始。 生後約1時間 K:4.5mEq/L, Na:136mEq/L 生後約8.5時間 K:6.8mEq/L, Na:133mEq/L 新生児高カリウム血症を認めた。 フロセミドを0.1mL\times2/日で静注投与。 生後約16時間 K:6.9mEq/L, Na:132mEq/L 利尿目的でドパミンを3.8γで投与開始。 生後約22.5時間 腎エコーにて腎血流良好を確認。利尿も確認。 日齢1 K:4.7mEq/L, Na:138mEq/L 新生児高カリウム血症は回復。</p>															
<p>臨床検査値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生後約1時間 (投与終了日)</th> <th>生後約8.5時間 (発現時)</th> <th>生後約16時間 (K最高値)</th> <th>日齢1 (転帰時)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>K (mEq/L)</td> <td>4.5</td> <td>6.8</td> <td>6.9</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>Na (mEq/L)</td> <td>136</td> <td>133</td> <td>132</td> <td>138</td> </tr> </tbody> </table>						生後約1時間 (投与終了日)	生後約8.5時間 (発現時)	生後約16時間 (K最高値)	日齢1 (転帰時)	K (mEq/L)	4.5	6.8	6.9	4.7	Na (mEq/L)	136	133	132	138
	生後約1時間 (投与終了日)	生後約8.5時間 (発現時)	生後約16時間 (K最高値)	日齢1 (転帰時)															
K (mEq/L)	4.5	6.8	6.9	4.7															
Na (mEq/L)	136	133	132	138															
併用薬 (母体): アンピシリンナトリウム, ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム																			